

広報

てらどまり

~アメニティタウン寺泊をめざして~

1994
3月号
No.221



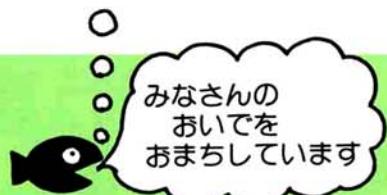
今月の主な記事

- 潤いと活力ある住民参加のまちづくり
- 交通災害共済会員募集!!



- 平成6年3月1日 寺泊町役場発行 〒940-25 新潟県三島郡寺泊町大字寺泊字上田町8224の2
- 総務課編集 TEL 0258-75-3111(代)

人のうごき (2月1日現在)	
人 口	12,968 (-4)
男	6,217 (-4)
女	6,751 (0)
世帯数	3,171世帯 (+1)
・出生	15人
・死亡	9人
・転入	6人
・転出	16人
() 内は前月比	



水族博物館
だより

「しゃちほこ」のモデル アツモリウオ

水族博物館では数多くの魚を飼育展示していますが、それらの魚は世界に約二万種以上生息している中のほんの一部にしかすぎません。そのため、まだ飼育展示したい興味深い魚は数多くいるのですが、採集、飼育方法などの問題でなかなか長期間展示することができない魚もあります。今回紹介するアツモリウオという魚も水族博物館で初めて飼育する魚です。

先日、出雲崎漁協から珍しい魚が採れたとの連絡を受け、いたたきに伺ったところ、北方系魚類の全長10cmほどのアツモリウオといふ魚で、水族博物館でも機会があれば飼育展示したい魚でした。アツモリウオは、体全体がかたい骨板（うろこが変形したもの）にお



冷たい海に生息するトクビレ科の魚「アツモリウオ」

われ、ピーンと立った大きな背びれが特徴の変わった姿をした魚で、いかにもかたいよろいを着た戦国時代の武将を連想させるところから、源平合戦でおなじみの平教盛と熊谷次郎直実の対戦になぞ

らえて、アツモリウオという名前がつけられ、一方、アツモリウオと同じ仲間の別種にクマガイウオと名付けられています。しかし名前とは反対に、一見角のように見えるヒゲで砂の中の有機物などを探しに食べるとなしい魚で、胸びれを使って水底をごそごそと歩く様子はとてもかわいいものです。

また、アツモリウオやクマガイウオなどの仲間は城の天守閣に飾られている「しゃちほこ」のモチーフにされた魚ともいわれ、地方によつては、これらの魚をシャチ、シャチホコと呼んでいる所もあります。

現在、予備水槽で飼育中ですが早く皆さんにその姿をお見せできるればと思っております。

交通事故をなくし
明るい町づくり
寺泊町の死亡事故ゼロ
280日 (2月25日現在)

潤いと活力ある

住民参加の

まちづくり



地域づくり特別事業 全体発表会



全体事業 活動報告

花いっぱい運動

去る二月二十日(日)「地域づくり特別事業全体発表会」が総勢八十五名の参加をいただき盛大に開催されました。

「花いっぱい運動」、「先進地合同視察研修会」、「ケント・ギルバートさんの文化講演会」などの全体事業そして五分科会の事業活動が次々と報告、参加者による意見交換も活発に行われました。

以下、当日の概要を掲載し、報告に代えさせていただきます。

また、歓迎塔前花壇では、管理作業(草取り・草刈・草燃やし・水くれ・病気予防)に、地域の住民の皆さんから延べ人数で二〇〇名以上の大勢の参加者をいたしましたことが、天候不順のなかでございました。しかし、綺麗な花で楽しめていたただくことが出来ました。

また、ブランナーの普及について統一ブランナーの普及について、家庭にいながらの運動への参加という主旨を御理解いただき、本年度は、昨年プラス一、〇〇〇個余り普及となり、各家庭の玄関・学校施設・公共施設の前等でたくさん見掛けるようになり、確実に運動の輪の広がりを肌で感じることができます。



先進地合同 視察研修会

- 学校間交流の推進
- 昨年の十月三十一日（国際交流交歓会当日）、小学校文化祭に外国人ゲストをお連れし、海外への関心のきっかけを作りました。
- 平成五年七月四日、五日群馬県新治村「たくみの里」で体験学習など自分の目で見、身体で感じた状況にもとづいて、研修会で話をお聞きし、さらには交換会で生の苦労話や失敗談などを聞けたことは、参加者にとって中身の濃い状況の把握が出来たと思い



ケント・ ギルバート 講演会

開催日 平成五年九月二十六日
演題 「面白天国ニッポン」
聴講者数 五五〇名

今年度で三回の講演会を開催させていただき、今回も多くの方々よりご来場いただきました。

講演にどの様な感想をもたれたかは、千差万別ですが、聴講された方の日常生活に潤いをもたらしてくれた内容であったものと信じております。



各種事業 へ協力参加

『健康ウォーク』(保健衛生課)、『ふるさとづくり講座』(町公民館)『ゴミ供養』(商工会)など各種企画への参画と積極的参加を図りました。



五分科会活動報告

地域文化を考える会

環境と福祉を考える会

国際交流を考える会

地場産業を考える会

まちの話題

新しくなった青少年研修センター開所式行われる！

新しくなった青少年研修センター開所式が行われました。町道改良工事に伴い、郷本保育所隣に移築された青少年研修センターの開所式が一月三十日行われました。あいにくの雪模様の天候にもかかわらず、地元の子供たちを始め八十名を越す大勢の参加者があり、新しい施設の完成を祝いました。町長の挨拶の後、子ども会を代表して志戸橋の笠原綾能さんが「よろこびのことば」として、感謝の気持ちを発表し、ジュースで乾杯、青少年研修センターは、寺泊町内の各地域の子ども会の合宿等をはじめ、これからも青少年健全育成に有効に利用されます。



よりよい食習慣の定着 健康づくりの案内役として



食生活推進委員会立つ

さっそく、二月二十日(日)に青少年研修センターの有効利用が進んでいます。
●利用申し込み・お問合せは 教育委員会まで
(☎) 一五八一七五一四四六



正しい知識と技術をもって、ます自らよりよい健康生活の実践者となり、そのうえで、地域の現実に即した効果的な手段で「私たちの健康は私たちの手で」を合い言葉に、食生活改善活動を中心に行っている食生活改善推進委員会養成の营养教室(主催:長岡保健所、共催:寺泊町、受講八回、期間:平成五年十月~平成六年二月)の閉講式が二月十六日農業研修所で行われました。

栄養教室には十七名参加し、講義の受講、また一回ごとにテーマを決めて、「高血圧の人の食事」、「貧血予防の食事」など、研究と努力を重ね健康増進・成人病予防の食事を次々に完成していました。

身近な生活実践を積み重ねた受講生は、「塩分、糖分の控えめを意識するようになった。」「生活(食事・運動・休養)の改善を家庭内でも少しずつ心掛けるようになった。」「教えていただいたことを基本にして、食推活動にできるだけ多く参加し、お隣さんから地域へと日常生活の中で広げたい。」と意欲満々。これから、町食生活改善推進委員協議会(会長:松田千恵子さん)と一緒に食生活改善・健康増進活動に協力をいたたく皆さんの活躍が期待されています。



自分たちの住んでいる町を知りうと昨年度行った、小学校区単位の「地区廻り勉強会」の中で、各地域・集落の各種行事の情報を区長さんはじめいろいろな方々に、お世話になりました。寺泊と日蓮をテーマに「日蓮の劇化」へ向けての勉強会等を企画しました。

この行事内容が満載され、「寺泊のカレンダー」を作成し昨年四月から、三ヶ月に一回公共施設等二十箇所に配布展示させていただきました。

寺泊と日蓮をテーマに「日蓮の劇化」へ向けての勉強会等を企画しました。

環境と福祉を考える会では、この三年間「学習と実践」を活動基本に、身近なテーマを摸索し、出来ることから実践してきました。

「環境」と「福祉」……それは大きく難しいテーマではありますが、「やさしさ」「行動」が原点であり、大切な要素です。

そして、それは地域づくり特別事業全般にも言えることだと感じています。

今後も「小さな一步を大切に」活動して行きます。

また、大きな視点から地場産業を見つめ直す手段として始めた「立体模型」の作成も引き続き作業を最大限に考慮して実施しました。

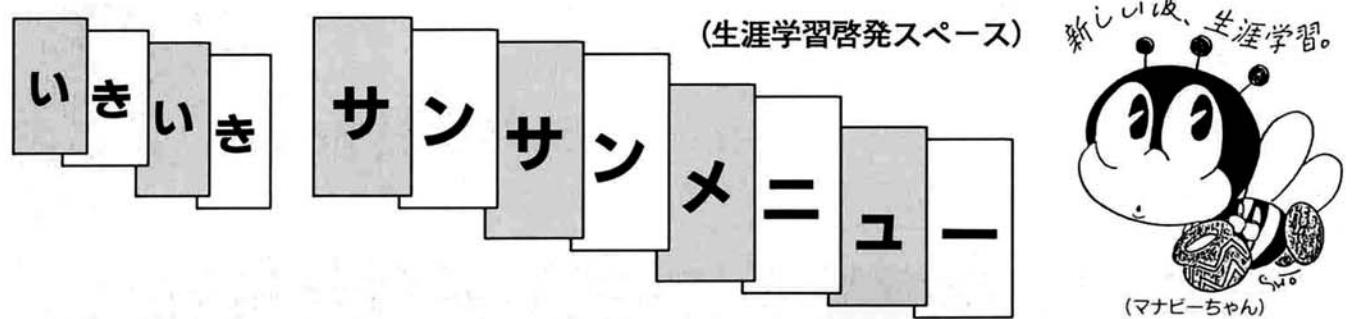
この活動は、昨年度からの継続で本年度は地元企業廻りとともに、特別事業の基本主旨である「町民への市民への提供」を最大限に考慮して実施しました。

また、大きな視点から、この分野を見つめ直す手段として始めた「立体模型」の作成も引き続き作業を見つめ直す手段として始めた「立体模型」の作成も引き続き作業を見つめ直す手段として始めた「立体模型」の作成も引き続き作業を見つめ直す手段として始めた「立体模型」の作成も引き続き作業



健康とスポーツを考える会





(生涯学習啓発スペース) 素しい波、生涯学習。

“私の生涯学習・生涯スポーツ”

……生涯学習・生涯スポーツへの取り組みや意見などをご紹介いたします……

ひとり、1テーマ、1学習、1事業を合言葉にしている寺泊町の生涯学習。

今やっていることや、興味を持っていること、皆さんが生涯学習・生涯スポーツにどのように取り組んでいるかなどを紹介いたします。生涯学習推進会議の委員の皆さんからの投稿です。

“学習”と言うと何だかかたくるしいですが、生涯学習は、「生涯樂習」です。それは自分自身の生きがいづくりです。

コミュニティ&生涯スポーツ

竹森 小田 勝



生涯スポーツを始めてもう3年たちました。今年の冬は久しぶりの積雪と寒風で大変でしたが、体育館の中では、熱気と楽しそうな声が飛び交い、3つあるコートいっぱいに、生涯スポーツとして生まれた「混合ソフトバレー・ボール」に汗を流しています。

高校を出たての青年から、還暦を迎える人まで、幅広い年代の40名余りの皆さん、週1回から2回、健康づくりと、スポーツ活動をしています。

若い人たちにはスポーツを通して年齢を越えた団体活動の中で自己を確立してほしいと思います。

年配の皆さんは初心者も多く、日頃の運動不足の解消や、スポーツのもつ楽しさの中に、生き甲斐を見出した思いで、コミュニティ&生涯スポーツに堪能しております。

皆さん、地域で楽しむ生涯スポーツを始めてみませんか。私たちでよければお手伝い致します。

“私の生涯学習、生涯スポーツ”コーナーに皆さんの取り組みを紹介してみませんか。投稿をお待ちしています。
(教育委員会「生涯学習推進室」まで)

「私の生涯学習」

五分一 小林修子

「私の生涯学習」

寺泊小学校長 原田 実



仲間づくりができたら、と参加したコーラス教室も2年が経ちました。何年か先には、「かえるの合唱」くらいになれると思っていましたが、メンバーの熱意と公民館の方々の力添えによって、何回か発表の場を持たせていただきました。

オルガンでのコーラスとは、他のところでは見られない状況の練習ではあります、毎回楽しいひと時を過ごしています。

目標を1つずつ前進させての参加は、私の生涯学習ではないかと思っています。

みなさんも一緒に「1学習」を始めてみませんか。



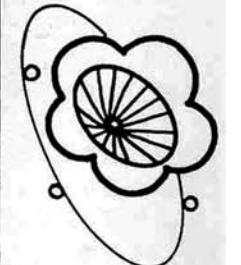
ある」という識者もいるとのことです

が、小生には程遠い生き方です。

今、次のことを考えています。

- 与えられた仕事(職業も含めて)を完遂するための学習。
- 自然の中で年齢相応に汗を流しながら心身を鍛えることができる学習。
- 気ままに書・絵を書く学習。

年齢の進行と共に重点が変わっていくと思います。



大がたバスになると「アーバーこれからスキーに行くんだな」と、うきうきした。バスの中でもらったおやつを見たら、おいしそうなものがいっぱいあってうれしかった。スキーじょうについて自分でべつたらいい気もちで、あせをかきながら何回もすべった。高い山がらすべつたときは、ちよとこわかった。パパから「ハの字」を、さんざん言われた。

おなかがすいたら、ちょうどちつきをしていた。ママの手はきなこでいっぱいだった。とてもお

生涯学習とは、時代の変化に対応し、主体的に生きるための学習(行為)と受け止めています。「良寛様は生涯学習の先達である」という識者もいるとのことです

二、三日前から、カゼをひいていましたが、元気にファミリースキーにさんかしました。午前は初心者スキー教室でスキーのやり方を教えてもらいました。

朝早く起きて、お父さんといっしょに体育館前行きました。バスの中でも同じクラスの和田奈津子さんもいました。

山のてっぺんからスキーに乗って上にリフトに乗って上に行くと人がたくさんました。

山のてっぺんからスキー乗って行くと、すぐころんで下にすべり下りるまで十二回もころびました。

ファミリー スキーに行って

大河津小二年
山田みちか



こうやって滑るの



楽しかった ファミリースキー

寺泊小三年
宮沢なつき



おいしい！つきたてのもち

もしろかった。弟がパパと親子ですべつたかったのがわいらしかった。たぶんみたいにじょうた。楽しい一日でかけられてしまつた。また来年も行きたいた。

帰りのバスで見たビデオはおもしろかったけど、つられてねてしまつた。楽しい一日でした。また来年も行きたいた。

バスが出発して、私はお菓子ばかり食べていた、おなかいっぱいになりました。一時間以上バスに乗つて、やつとスキー場につきました。

スキー場はやっぱり、どこを見

それから、もちつき大会があり、こんだ数は、かぞえきれないほど、とても楽しいファミリースキーでした。そして、午後はリフトに六回乗つて午前と合わせて七回乗りました。こんどは、家ぞくみんなでとかしたいと思います。



